

【取組内容】「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのデジタル教科書の活用

「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実

【「個別最適な学び」の視点から】

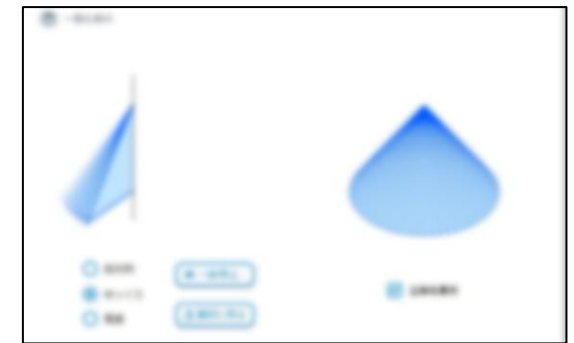
●導入時における興味・関心を高めるための活用

生徒の課題意識を高めるために、導入時にデジタル教科書の動画や音声教材を活用しました。中2社会科「二度の世界大戦と日本」の学習では、自分の学習課題を設定する際に、コンテンツの動画により、当時の様子を視聴することで、多くの生徒がもっと詳しく知りたいという思いをもちました。



●試行錯誤しながら学習に取り組む活動での活用

生徒は粘り強く試行錯誤する中で自分の考えを整理し、表現することができると仮説を立て、デジタル教科書のシミュレーション機能を活用しました。中1数学科「立体のいろいろな見方」の学習では、画面上で回転体を繰り返し操作し、多くの生徒が試行錯誤を繰り返しながら、回転の軸と回転体の関係について、自分が納得するまで追究することができました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

朝日町立朝日中学校

【取組内容】 「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのデジタル教科書の活用

「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実

【「個別最適な学び」の視点から】

●考えを整理する場面での活用

自分の考えや事柄の根拠を整理する場面で活用しました。国語科では、全学年において説明文や物語文の学習の際に、「マイ黒板」と「付箋」の機能を活用し、それぞれの段落の内容をまとめる際に、本文中の文章を切り取ったり色分けをしたりして自分の思考を整理するなどして、生徒一人一人が自分のペースで自己調整しながら学習を進めることができました。



【「協働的な学び」の視点から】

●互いに学び合う活動での活用

・他の生徒と話し合ったり情報を共有したりしながら学びを深める場面においてデジタル教科書を活用しました。どの教科においても、デジタル教科書のコンテンツや資料を電子黒板に映し出し、グループや全体で問題を共有したり他者の考えを参照したりすることができるようになることから、他者の考えからヒントを得たり別の考えに挑戦したりするなどして自分の考えを広げることにつながりました。

